

行田ロータリークラブ

「ロータリーの未来は
あなたの手に」

RI会長: ジョン・ケニー / ガバナー: 加藤玄静



会長: 富田 久雄 / 幹事: 持田 朋春

例会日: 木曜日(夜間例会)

クラブ会報委員会

午後 18:30開会

委員長: 小椋 剛 / 副委員長: 境野 登章

委員: 廣世 雅昭・武笠 邦之介

会 場: ベルヴィアイトピア

第2123回 例会 (2009年7月30日)

第五回 例会 卓話 行田市市長: 工藤正司様



- ★ 点鐘
- ★ ロータリーソング斉唱 第5週 我等の生業
- ★ 四つのテスト
- ★ 来訪者紹介 富田 久雄会長
- ★ 会長報告 富田 久雄会長
- ★ 幹事報告 持田 朋春幹事
- ★ さくらロータリークラブ会長・幹事 ご挨拶
- ★ 本日の卓話
- ★ 謝辞 富田 久雄会長
- ★ 出席・スマイル報告
- ★ 点鐘

★ 来訪者紹介

★ 富田 久雄会長

行田市市長: 工藤正司様 総合政策部 秘書課長: 川島将史様
行田さくらロータリークラブさんより、新井啓介会長様と島崎義春幹事様です。



★ 会長報告

★ 富田 久雄会長

皆様こんばんは。会長報告を申し上げます。
本日は今期初めての夜間例会と言う事で、大勢の方々にご参加頂きまして誠にありがとうございます。
今日は今年度初めてのゴルフコンペで御座いました。参加頂きました皆様には大変暑い中お疲れ様でした。
今期はあくまで健康のためのゴルフと位置づけ健康管理委員会での主催です。
その中のゴルフ部会と致しまして、本日は鈴木委員にお骨折りを頂きました。大変ご苦勞様でした。
健康管理のためのゴルフでありますので、成績にはあまりこだわらず次回も是非ご参加の程、
宜しくお願い申し上げます。～会長報告 次のページへ続く～

～会長報告 続き～

さて本日は卓話者と致しまして、我が行田市のトップリーダーであります工藤市長様においでを頂いております。ご公務多忙の中、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げる次第でございます。

短い時間ではございますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

実は先日私と持田幹事、そして山本副会長・稲垣次期幹事予定者と共に、市長室を表敬訪問させて頂きました。今年度のメイン事業であります来年2月11日の文化講演会に付いてお話を申し上げましたところ、すぐに担当を呼んで頂き検討して頂きまして、この事業を行田市制施行60周年の一事業として開催させて頂ける事になりました。工藤市長様の素早い対応に、心から感激致しました。本当に嬉しく、心から感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

本日は一つだけお話をさせて頂きます。文化講演会に出てきます月刊雑誌「致知」に付いてであります。

この[致知]というのは中国古典に[大学]という書物がありますが、その中に出てくる格物致知(かくぶつちち)と言う四字熟語からつけられたそうであります。二宮金次郎(尊徳)が薪(たきぎ)を背負って本を読んでいる銅像を見た事があると思いますが、あの金次郎が読んでいる本が「大学」だそうです。

「大学」と言うのは大人(たいじん)の学(まなび)と言う意味で、わかりやすく言えば立派な大人(おとな)になるための心構えが書いてある本だそうです。「格物致知(かくぶつちち)と言う言葉の意味は、物事にぶつかって知るに至ると

いう事で、実際の体験を通じて学び、その学びを書物を読むことで深めていくと言う事を表しているそうです。そう言う言葉から誌名をつけられた雑誌「致知」には、世の中で活躍する人たちの多くの体験が掲載されていると言う事

事あります。来年2月の文化講演会、今から大いに期待するところあります。以上で本日の会長報告を終わります。ありがとうございました。

★ 幹事報告

★ 持田 朋春幹事



皆様こんばんは。本日は富田年度初夜間例会となります。例会終了後懇親会を予定しておりますのでお楽しみにして下さい。今日の卓話は、職業奉仕委員会によります卓話講師、行田市市長工藤正司様をお迎えしております。よろしくお祈りします。また行田さくらロータリークラブ新井会長・島崎幹事お二人で表敬来訪してくださいました。歓迎いたします。週報(行田RCホームページ)を、お持ちいたしましたのでご覧下さい。黒淵パスト会長に例会司会をしていただきました。有難うございました。例会出席の返信をお願いしておりますが、まだまだ確認の取れない方が居りますので、月曜日の午前中までに(事務局専用メール)返信をお願いします。

- 1) 本日行田ロータリークラブ富田年度第一回親睦ゴルフコンペが開催されました参加されました。会員の皆様ご苦勞様でした。
- 2) 8月1日地区青少年交換委員会セミナーが開催されます。武田委員長他宜しくお願いします。
- 3) 8月3日職業奉仕委員会炉辺会合が開催されます。他の委員会も活発な活動をしていただくようお願いいたします。
- 4) 来週8月6日は、創立記念例会ガバナーエレクト西川武重郎様の卓話です。お楽しみにしてください。

★ さくらロータリークラブ 会長・幹事 ご挨拶

★ さくらロータリークラブ 新井啓介会長様

今年度さくらロータリークラブ会長を仰せつかっております、新井です。今年度は私どものクラブより、ガバナー補佐を出すことになりました。親クラブの貴クラブには、お世話になる事も多々あると思います。宜しくお願いします。



★ さくらロータリークラブ 島崎義春幹事様

本年度は、当さくらロータリークラブの細井さんが
ガバナー補佐に選出されております。
IMも成功させたいと思います。
今年度1年間、どうぞ宜しくお願い致します。



★ 本日の卓話(職業奉仕委員会担当)

卓話講師 行田市市長:工藤正司様

テーマ 「行田市 未来への思い」

本日は、行田ロータリークラブの例会・そして卓話ということで、私が市長に就任して二度目のお招き、誠にありがとうございます。日頃、経済人としてご活躍の皆様からこのような機会を頂戴し大変光栄であります。皆様には日頃から行田市政に対し一方ならぬご理解とご協力を賜り、この場をお借りして心から厚くお礼を申し上げます。また、ご自身の職業を愛し、他人への思いやりの心を大切にするロータリアンとして、「分かちあいの精神」の下に、様々な分野で、地域での奉仕活動・社会貢献活動にご尽力をいただき、心から敬意を表する次第でございます。今年の夏、関東では思ったより早く梅雨明けが宣言され、暑い夏の到来と言いたいところではありますが、今のところはっきりしない天気が続きます。山口県をはじめ中国・四国・九州地方では、例のない大雨に大きな被害が出ているところがあります。本市としても、これからの台風やゲリラ豪雨の季節に備え、万全を期していきたいと思っております。子供達も楽しみにしていた夏休みに入り、地域のお祭りや先日の浮き城まつりと、夏休みを満喫しているのではないのでしょうか。地球の温暖化が叫ばれて久しいところではありますが、私達が育った頃のように、夏は夏らしく、冬は冬らしく、我が国の春夏秋冬をいつまでも楽しんでいきたいものであります。市としても未来を担う子供達のために、この地球環境を変えることなく引き継いでいけるよう環境に対する行政の意識改革、市民の意識改革を推進していきたいと思っております。さて、本日は私の卓話ということでご案内をいただき“行田市・未来への思い”と題してお話をさせて頂きたいと思っております。ご参会の皆様が人生の大先輩、或いは同世代の皆様ということで、緊張の余り、私の思いをどれだけお伝えできるか不安もありますが、しばらくお付き合いいただききたいと思っております。私も大勢の市民の皆様のご温かいご支持をいただき、市長に就任して早2年と3ヶ月が経過しました。この間「市民が主役」のまちづくりを基本として、市政情報の公開に努め、透明で信頼される市政を推進しながら、市民の皆様への参画をはじめ市民主導のまちづくりを進めてきました。さらに、常に市民の視点・それぞれの世代の目線で仕事をしようと現場主義を貫き、「百聞は一見にしかず」と、時に各部課長と共に現場に赴き、自らの目で現況を確認し、判断させていただいております。引き続き、役所、特に市長室に腰を据えた仕事でなく、職員と共に現場に赴く、市民目線での現場主義を貫いてまいりたいと思っております。

● マニフェストの取組みについて

さて、市民の皆様とお約束したマニフェストについては、スピード感を持って取り組ませていただいております。「元気な行田」「新しい行田」「安心・安全な行田」の実現に向け、一つひとつのマニフェストにスピード感をもって取り組んでいます。今、地方行財政は、大きな変革の真っ只中にあります。少子高齢化の進展や地方分権の本格化、三位一体の改革、さらには、戦後最悪とされる今日の景気低迷などの影響を受け、市政を取り巻く環境は、大変に厳しい状況を迎えている状態です。そうした中、私は、「市財政の健全化」を最重要課題として「たゆまぬ改革 あくなき挑戦」を胸に、市民の皆様への厚い信頼と力強い期待に、真正面からお応えするための諸施策に、確固たる決意と情熱をもって挑んでおります。

● 政の健全化について 「市の借金(市債)の削減」

まず市財政の健全化に関してですが、新たな借入の抑制や過去に借り入れた高金利の市債の繰上償還の実施など、市債残高の削減を図り、昨年度は一昨年度と比較して約13億7千万円を削減。一昨年度の削減額11億2千万円と合わせて、2年間で約25億円を削減しました。私は、将来の世代に過大なツケを回すことのないよう、各家庭と同様に、収入の範囲で市政を運営すべきであるとの基本原則のもと、公共事業をはじめとする既存事業の徹底した見直しを行い、市債残高の積極的な削減に取り組んでおります。～卓話 次のページへ続く～

～卓話 前のページより続き～

●「人件費の削減」について

様々な行政ニーズに的確に対応する一方で、民間委託の推進や組織の枠にとらわれない弾力的な組織体制を構築することにより、職員数を削減し人件費を抑制しております。地方分権や多様化する行政ニーズなどによる事務量・仕事量が著しく増大する中で削減であることにご理解をいただきたいと思います。

●情報公開による開かれた市政と市民参加の推進

まちづくりの主役は“市民”であり、これまでのような、行政主導であってはなりません。市民が、あらゆる場面でまちづくりに主体的に取り組んでいただけるよう、「情報公開」を徹底し、透明で開かれた市政を推進しております。

●「市民の声を市政に反映『あなたが市長だったら5,000人市長運動』」

かれこれ2年数か月前の選挙期間中、私の公約の中心となったものが正に「5000人市長運動」であります。

この方針の下、選挙運動期間中に行田市全域をくまなく歩き回り、大勢の市民の皆様のご意見を頂戴して5つの約束・25の目標というマニフェストにまとめ上げましたが、こうした考えは間違えなかったものと確信しております。この考え方に市長就任後も全くの陰りはなく、市長という立場に変わったわけではありませんが、初心を忘れず一人でも多くの市民の声を直接お聞きするため、「あなたがもし市長だったら」という視点から、市政に対する意見や提言をいただく「市長と語る対話集会」、そして、企業やサークルとの意見交換を行う「市長のさわやか訪問」を実施しています。

昨年度の「市長と語る対話集会」では、一昨年を大幅に上回る方々のご参加をいただき、貴重なご意見・ご提言を頂戴しました。今年度、正に今開催中であり、開催地・日時等で都合がよろしければ、是非おいでいただきたいと思っております。「市民の声に耳を傾ける」。これが私の基本姿勢であり、市政運営の第一歩です。私は、あらゆる機会を通じて、市民の声に耳を傾け、できることから順次、市政に反映させております。

●「地域の特性に合った支えあいの実現を目指して『支えあいミーティング』」

昨年度と今年度の2年をかけて「地域福祉計画」策定に向けた作業に取り組んでいます。これは、地域で支え合う福祉のまちづくりの構築に向けた取り組みであります。その策定の前段として、昨年度は、地域の特性に合った、支えあいの仕組みづくりについて考える「ささえあいミーティング」を、全ての公民館で複数回にわたって開催しました。自治会長や民生委員、PTA役員など、幅広い分野で活躍される方々に参加していただいておりますが、この「支えあいミーティング」、そして「地域福祉計画」の策定、計画に基づく事業実施を経て、「共に支え合い、誰もが自分らしく地域で暮らせるまち・行田」の構築に、私はイメージを膨らませております。

●「商工業振興条例」を制定

商工業の振興に向けた基本方針や、市・事業者・経済団体の役割などを規定した行田市商工業振興条例を制定し、昨年7月から施行。関係機関との連携を図りながら、商工業基盤の安定・強化による商工業の振興に取り組んでいきます。

●「緊急経済対策」を実施

私は、昨年末の急激な景気後退をいち早く察知し、昨年12月、市内の大手製造企業2社を訪問、経営状況や雇用に関する現状把握と雇用安定への協力を要請しました。さらに、市内3つの金融機関を訪問し、セーフティネットなどについての意見交換や中小企業への積極的な融資を要請しました。年明けには、私が本部長を務める緊急経済対策本部を市役所内に設置し、「地域経済の活性化」や「中小企業の経営安定化」、「市民生活の安心」などを柱とする緊急経済対策を実施。引き続き景気動向等を注視しながら対策本部を中心とする全庁体制のもと、効果的な対策に取り組めます。

●「行田市民大学」を開校

市民の皆さんに生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、市民文化の向上と豊かな地域社会づくりに貢献することを目的として、4月15日に晴れて行田市民大学を開講しました。昨年度は、市民20人の準備委員会により、10月から12月にかけて開校前講座(プレ講座)が開催されました。行田市民大学は、これまでのような行政が企画し市民が参加するのではなく、市民自らが企画・運営する実行委員会による「市民手作りの学校」である。

開校式には私も学長として参加させていただき、来賓には、ものづくり大学の神本武征(かみもとたけゆき)学長をお招きしました。募集人員(50名)を大きく上回る申込みをいただき、総勢98名。

来年3月までの1年間を修学期間として、ものづくり大学と郷土博物館を会場に全22回の講座が開催されます。

～卓話 次のページへ続く～

～卓話 前のページより続き～

●「トータルサポート推進事業をスタート」

人は、様々な理由で支援を必要とする場合があり、その状況は一人ひとり異なり、今後、それぞれのケースやライフステージに応じて一貫した支援を行う必要がある。私は、一人ひとりのニーズに合った支援を総合的に行うため、トータルサポートの推進に取り組み、昨年4月に市役所内に「ふくし総合窓口」を開設、専門職員による保健・福祉などの総合相談を始めました。さらに組織内や関係機関との連携による虐待防止事業の充実や福祉のまちづくりシンポジウムを開催しました。

●「自動体外式除細動器(AED)設置事業」

市立保育園、公設の学童保育室、つどいの広場(みなみかわら)、児童センター及び古代蓮会館の18ヶ所に、新たにAEDを設置し、救命活動設備を充実しました。

●「消防施設の整備事業」

市民の生命と財産を守るための設備は必需品です。昨年は、消防団庁舎2ヶ所の改修(南部第7分団、北部第10分団)と消防ポンプ自動車2台の更新(北分署、中央第3分署)を行い、消防活動体制を強化・充実しました。

～～～以下略～～～



行田市長： 工藤正司様 卓話風景

★謝辞 富田久雄会長

工藤市長様、本日は大変お忙しいところ
ありがとうございました。



★出席・スマイル報告

★出席状況報告

古沢勇治副委員長

T	・正会員数	55名
A	・85年規定承認者	14名
A	・理事会欠席承認者	1名
P	・本日の出席者	36名
B	・各承認者の例会出席者	11名
MU	・本日のメーキャップ者	1名
	本日の出席率	72.55%



～にここに報告は次のページへ記載～

● 行田さくらRC 新井会長	本日はお世話になります。
● 行田さくらRC 島崎幹事	本日はお世話になります。
● 富田会長	工藤行田市長様、本日は卓話ありがとうございます。
● 富田会長	本日今期の初ゴルフコンペ参加の皆様、大変暑い中ご苦勞様でした。
● 持田幹事	工藤市長様 卓話ご苦勞様です。ゴルフコンペ ツーバーディーいただきました。
● 小池(英)会員	工藤市長の卓話を歓迎して。
● 渡辺会員	工藤市長 ようこそおいで下さいました。
● 内山会員	工藤市長様 行田市の活力アップ、よろしくお願いします。
● 宮内会員	行田市長工藤様、ようこそ。卓話楽しみにしております。
● 小山会員	ゴルフ会 暑い中を一日まわり疲れましたが、健康に自信ができました。感謝申し上げます。
● 小林会員	富田年度 初ゴルフ楽しんで来ました。工藤市長お忙しい中、卓話有難うございます。
● 鈴木(貴)会員	本日は第一回の親睦コンペ 暑い中ありがとうございました。
● 石塚会員	今日のゴルフ会 突然の欠席申し訳ありません。
● 武井会員	ゴルフ参加出来ずで申し訳ありませんでした。
● 黒淵会員	工藤市長様 本日は卓話ありがとうございます。 当社も7月17日 ISO9001-2008を取得出来ました。ありがとうございます。
● 永島会員	8月1日は「水の日」です。9月13日大宮ソニックシティーにて水フォーラム テーマ「利根大堰と武蔵水路の成立の講演会」が東洋大学教授松浦茂樹先生にてあります。
● 湯本会員	本日はお忙しいところ工藤市長様、卓話有難うございます。
● 以下同文	山田会員、清水(義)会員、長島会員、鴨田会員、碓井会員、蔭山会員、武笠会員、 福島会員、山本会員、小菅会員、柿沼会員、境野会員、稲垣会員、阿部会員、 武田会員、小池(利)会員、小島会員、小沢会員、小椋会員、橋本会員、古沢会員
●	本日のニコニコは、42,000円でした。ありがとうございました。(順不同にて報告しました)

★ 点鐘

～～～懇親会～～～

例会後、懇親会が行われました。

